



貴婦人と一角獣 展 国立新美術館

2013年4月24日～7月15日

6/29 記

人間の感覚（五感＋六感）を表したタピスリー6連作。他にステンドグラス・衣裳・装飾品と箱など。

- ① 触覚—貴婦人が一角獣の角を掴む。
描かれた動物たちが首輪をつけているのは「男性は女性に忠実である」ということを表している。
- ② 味覚—鷹に餌を与える。
貴婦人と侍女のドレスのスリットは切口装飾。
- ③ 嗅覚—撫子で冠を編む。猿が薔薇の香を嗅ぐ。
- ④ 聴覚—携帯オルガンを演奏する。
- ⑤ 視覚—貴婦人が手にした鏡を一角獣が覗く。
- ⑥ 我が唯一の望み—*Mon seul désir*. 第六感を表す。
精神的・肉体的恋愛を表す。サギとハヤブサは愛の戦い、ウサギは強い繁殖力の象徴。

背景の千花文様 (*Mille fleur*) は忠実に描かれているため、花の種類が特定できる。



下絵画家&織師が暗示を込めて描く恋愛情景。織り込まれている縦型紋章はルヴィスト家の当主を表す(当主以外は別記号が入る)紋章なので、依頼主はアントワーンⅡ世という説が有力。当時、男性のマントは威厳を表し、身分の高い女性は外出時に髪をヴェールで覆っていた。男女共に指環が流行したが、婚約指輪は保証金の一つ。